

# 広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

## 功績をたたえ今別町文化賞・スポーツ賞授与

平成24年今別町文化賞・スポーツ賞授与式が1月17日、中央公民館において行われました。文化賞は、全国小学校ホームページ大賞において3年連続県代表となり、2011年総務大臣賞に輝いた今別小学校が受賞しました。文化奨励賞、児童・生徒文化賞では、作文や書写で優秀な成績を収めた小学生5名のほか、英語弁論で活躍した中学生1名が受賞しました。

スポーツ賞では、フェンシングや陸上、バレーボールで活躍した高校生3名、中学生2名、一般からは障害者水泳、バドミントンで2名が受賞しました。また、少年スポーツ賞では、フェンシング、バドミントンで優秀な成績を収めた、小学生2名と、ミニバスケットボールで活躍した荒馬っ子スポーツ少年団が受賞しました。

授与式では、相内利男教育委員長から表彰状と記念品が手渡され、小鹿町長が「皆様には、今後も町のリーダー、他の模範として一層の活躍を祈念いたします」と祝辞を述べました。受賞者を代表して田中楓さん（今別中3年）は「この受賞を励みに、今後もスポーツ・文化活動の振興に努力していきます。」とお礼の言葉を述べました。



(敬称略)

### 【スポーツ賞】

- ☆相内 紀貴（一般）
  - 第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」
    - 水泳競技の肢体不自由者男子25m 第2位
    - 水泳競技の肢体不自由者男子50m 第4位
- ☆藤田 剛（一般）
  - 東北シニアバドミントン競技大会 男子40～44歳 第2位
  - 青森県シニアバドミントン選手権大会 40歳以上男子ダブルス 第3位
  - 青森市民バドミントン大会 一般男子ダブルス 第3位
- ☆最上茉莉菜（黒石高3年）
  - 青森県高等学校総合体育大会フェンシング競技 フルレー・団体 優勝
- ☆澤田 朱里（黒石高2年）
  - 秋季青森県高等学校フェンシング選手権大会 フルレー・エペ個人 優勝
- ☆川村 修平（青森高2年）
  - 青森県秋季陸上選手権大会 男子3,000m障害 第3位
- ☆田中 楓（今別中3年）
  - JOCジュニアオリンピックカップ
  - 第26回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 全国大会出場
- ☆川村 紘平（今別中2年）
  - 第22回東北少年フェンシング大会 中学校男子の部 第3位

### 【少年スポーツ賞】

- ☆田中 純（今別小4年）
  - 第22回東北少年フェンシング大会 小学校3・4年の部 準優勝
- ☆藤田あさひ（今別小4年）
  - 東北小学生バドミントン大会 女子ダブルス4年生以下 ベスト8
  - 青森県小学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス4年生以下 第3位
- ☆荒馬っ子スポーツ少年団（今別小学校）
  - 第8回東青地区ミニバスケットボール春季大会 ベスト8
  - 第34回外ヶ浜地区防犯少年球技大会（ミニバスケットボール） 優勝
  - 平成24年度青森市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会 ベスト8

### 【文化賞】

- ☆今別小学校
  - 「全国小学校ホームページ大賞（J-KIDS大賞）」
    - 第8回J-KIDS大賞2010 県代表
    - 第9回J-KIDS大賞2011 県代表 ベスト8
    - 第9回J-KIDS大賞2011 総務大臣賞 受賞
    - 第10回J-KIDS大賞2012 県代表

### 【文化奨励賞】

- ☆木村 莉子（今別小1年）
  - 「農業ふれあい教室」作文・かべ新聞コンクール 最優秀賞
- ☆太田 和吹（今別小5年）
  - 「農業ふれあい教室」作文・かべ新聞コンクール 優秀賞
- ☆小鹿 海成（今別小3年）
  - 日本海事広報協会 ジュニア・マリン賞 佳作

### 【児童・生徒文化賞】

- ☆田中 楓（今別中3年）
  - 第51回東津軽郡中学校英語弁論大会 創作の部 第1位
- ☆田邊 楓（今別小6年）
  - 青森県小・中学校書写紙上展 小学校の部（東青地区）奨励賞
- ☆畑田真友香（今別小5年）
  - 青森県小・中学校書写紙上展 小学校の部（東青地区）奨励賞



## バルーンアートって 楽しいな♪

1月19日、中央公民館においてバルーンアート教室が開催されました。参加した15名の子供たちは、細長い風船をねじったり、形を整えて犬を作ったり、大きな風船人形を作ったりしてバルーンアートを楽しみました。



### 今別町食生活改善推進委員会が 知事表彰を受ける

12月20日、今別町食生活改善推進委員会（境谷穂子会長）が、多年にわたり地域社会における公衆衛生の向上発展に尽くし、健康づくりの推進に貢献したとして青森県知事より表彰状を受けました。同委員会は食事バランスガイドの普及や、栄養・食生活改善に関する講習会を開催するなど、地域住民の健康増進に寄与したことが認められ、今回の表彰となりました。



代表して表彰を受けた境谷会長

# 今別町選挙管理委員会 新組織決まる

平成24年12月に開会された今別町議会定例会において、今別町選挙管理委員会が選出され、1月10日組織会が開催されました。

委員長には、上山等氏（65歳・大川平）が選ばれ、委員長職務代理者に中島陸奥氏（70歳・山崎）、委員に畑井敏彦氏（65歳・西田）、長島三千次氏（65歳・奥平部）の両氏に決まりました。

任期は平成24年12月13日から平成28年12月12日までとなります。



左から畑井氏、上山氏、中島氏、長島氏

# 教育と伝統文化の融合

今別中学校では、平成24・25年度の2年間「伝統文化に関する教育を取り入れた学校のモデル校」として文部科学省から指定を受けました。

今別中学校では、以前から学校や町の行事の際に生徒が荒馬を披露してきました。その活動は本格的で、毎年、今別荒馬保存会から定期的に指導を受けており、全校生徒が一丸となっており、全校生徒が丸となって取り組んでいます。この取組が評価され、全国の中学校のなかで唯一今別中学校だけがモデル校に指定されました。

これを受け、今別中学校の高校校長は「地域の伝統芸能「荒馬」への取組を通して、今まで以上に生徒の豊かな心の育成を図っていききたいと考えています。」と語っていました。



# ふれあい福祉スポーツ大会開催

2月18日、第27回今別町ふれあい福祉スポーツ大会が今別中学校体育館で開催されました。

大会には町内老人クラブやかもめ共同作業所、今別中1・2年生などが参加し、スプリンレースやボール送りリレーなど8種類の競技を行いました。

この日は気温が低く、吹雪に見舞われたあいにの天気でしたが、会場は熱気と笑いに包まれ、参加者は思い思いに競技を楽しんでいました。

【大会の結果は次のとおりです】

- ▼優勝 白鳥・関口老人クラブ
- ▼準優勝 明和会老人クラブ
- ▼第3位 新生老人クラブ



中学生もがんばりました



チームワークが大事なボール送りリレー



見事1位でゴールテープを切りました



ナイスショット!

# どんど焼き

1月14日、旧営林署土場で今別八幡宮（澤田瑞穂宮司）の主催でどんど焼きが行われました。

この日は天気も良く、風も穏やかに開始時間前から多くの人が訪れ、しめ縄などの正月飾りを炎に投げ入れ、手を合わせて今年の家の安全と無病息災を祈念しました。



# 年末朝市大売出し

12月28日、竜飛今別漁協本所前では朝7時の花火と同時に朝市が開催され、アワビや鮭などの魚介類や生花、いのしし肉や野菜などが販売されました。

また、会場ではぼたん鍋が振舞われ、買い物客は冷えた体を温めながら正月用品を買っていました。



ぼたん鍋は温まりますね



販売開始から飛ぶように商品が売れていきます

# 福岡県久留米市へ荒馬講習

今別荒馬保存会は、11月18日に福岡県久留米市内で開催された、久留米保育問題研究会主催の「郷土芸能学習会」に荒馬の講師として招かれ、講習会が行われました。

この講習は、久留米市内で荒馬を取り入れている保育園の保育士や子供たちが参加し、荒馬の各パート（馬、手綱、太鼓、笛、跳人）に分かれて行われ、参加者それぞれが希望するパートを練習しました。今別荒馬保存会はこれまでも東京で荒馬の講習会を行っており、全国へ「今別の荒馬」が広がっています。



子供たちに荒馬を指導する保存会のメンバー（写真右）



本場今別の荒馬を習うため、多くの方が参加しました。

# 大・抽・選・会

1月12日、歳末謝恩大売出し加盟店会（小鹿孝悦会長）主催で、大抽選会が中央公民館で開催されました。

午前10時の開始から会場には大行列ができ、当たりが出るたびに鐘が鳴り響きました。10枚引いてもはずれ賞ばかりの人もいれば、1枚だけで1等を当てる強運の持ち主も現れ、会場は大盛り上がりでした。

また、会場ではどっぴり引きも行われ、こちらも大盛況でした。



うまく当たりは引けたかな？



祈りを込めてくじを引きます

# 第23回婦人芸能祭開催のお知らせ

主催：今別町連合婦人会  
日時：平成25年2月9日(土)  
午前9時30分から  
場所：今別町開発センター

とん汁の  
無料サービス  
もあるよ！



「ご来場おまちしてます」

《問合せ先》今別町教育委員会 TEL 35-2157

# 2月は赤十字社員増強運動月間です

赤十字の様々な活動は皆さまから寄せられる社資(社費・寄付金)によって支えられています。

未曾有の大災害「東日本大震災」の発生からもうすぐ2年が経過しますが、甚大な被害を被った地域では、復興が進む一方で、いまだ仮設住宅での不便な生活を余儀なくされている被災者も数多く、また、漁業などの主要産業への影響も深刻であるため、物心両面の長期・継続的な支援活動が求められています。

ご支援いただいた社資は、こうした東日本大震災被災者の長期的な支援はもとより、新たな災害発生に備えた防災体制の強化や高齢者社会に伴う地域ボランティア活動の充実など様々な活動に役立っています。

日赤青森県支部では、2月1日から県下一斉に『赤十字を支えるあなたのちから』をスローガンに「赤十字社員増強・社資増収運動」を実施しています。日本赤十字社が果たすべき役割と増強運動の趣旨をご理解いただき、赤十字活動の普及・推進のため、各町内の役員の方々の訪問の際は、町民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

《問合せ先》○日本赤十字社青森県支部 組織振興課  
〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号  
TEL 017-722-2011

○日本赤十字社青森県支部 今別町分区  
担当課 町民福祉課 福祉担当 TEL 35-3004

# 今別町農業委員会委員選挙のお知らせ

1. 投票日  
平成25年3月3日(日) 午前7時～午後6時  
・第1投票所 今別町中央公民館  
・第2投票所 大川平文化会館  
・第3投票所 大泊文化会館  
・第4投票所 今別町多目的集会所

2. 開票日  
平成25年3月3日(日)  
午後7時 今別町役場会議室

3. 期日前投票および不在者投票  
期日 平成25年2月27日(水)～3月2日(土)  
時間 午前8時30分～午後8時  
場所 今別町役場会議室



《問合せ先》今別町選挙管理委員会 TEL 35-2001

# 今別町ふれあい福祉センター 2月の相談日のご案内

◎一般相談 日常のあらゆる心配ごとと悩みごと…など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談 (毎月隔週の水曜日)	2月13日(水) 2月27日(水)	10:00~11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日～金曜日	10:00~17:00	社協職員

※土・日及び祝日は対応できませんのでご注意ください。

◎専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相続、 土地登記に関する相談	2月12日 (火)	13:30~15:30	司法書士

※相談を予定している方は事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせ願います。また、今年度の法律相談は2月で終了となります。

《問合せ先》社会福祉協議会 TEL 35-2770

# 平成25年度保育園入所児童募集

今別町では、平成25年度保育園入所児童を募集しています。

入所希望される保護者の方は、平成25年2月7日(木)～2月28日(木)までに役場町民福祉課福祉担当までお申し込みください。申込書は役場町民福祉課福祉担当窓口及び今別保育園にございます。

## ☆必要な書類等☆

1. 保育所入所申込書
  2. 給与所得者の方は源泉徴収票の写し(平成24年分)、確定申告をした方は申告書の写し
  3. 確定申告書の写し(平成24年分・後日確定後に提出していただきます)
  4. 就労証明書
  5. 状況確認報告書(自営業の方等は民生委員からの状況確認報告書が必要です。各地区の民生委員から証明をいただいでください。)
  6. 診察券の写し(介護・通院の方)
- ※(1～5までの書類は役場、保育園にございます)



## ☆入所基準☆

※両親(両親と別居している場合は児童の保育を實際見ている者)が(1)～(6)のいずれかに該当しなければ入所できません。

- (1) 家庭外労働 …… 児童の親が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
- (2) 家庭内労働 …… 児童の親が家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その保育ができない場合。
- (3) 親のいない家庭 …… 死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない場合。
- (4) 母親の出産等 …… 親が出産の前後及び病気、負傷、心身に障害があるため、その児童の保育ができない場合。
- (5) 病人の看護等 …… その児童の家庭に長期にわたる病人、心身に障害がある人がいるため、親がいつもその看護にあたり、その児童の保育ができない場合。
- (6) 家屋の災害 …… 震災、風水害、火災などの災害により、家屋を破損または失い、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

《申し込み・問合せ先》町民福祉課 福祉担当 TEL 35-3004

# 20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることになります。

## 【国民年金（基礎年金）3つのメリット】

- 1、老齢基礎年金……老後を支えます
- 2、障害基礎年金……病気やけがで障害の状態になったときに支えます
- 3、遺族基礎年金……加入者が亡くなったとき、子のある妻、子を支えます

## 【学生納付特例制度と若年者納付猶予制度】

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は、「学生納付特例制度」（学生のみ）、「若年者納付猶予制度」（30歳未満）などの保険料納付猶予制度があります。

### ☆「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

### ☆「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

どちらの制度も、承認された期間は老齢基礎年金を受け取るために必要な期間に算入されますが、年金額には反映されません。しかし、収入を得られるようになり保険料の納付が可能となったときに「追納制度」をご利用いただければ、将来受け取る年金を増額することができます。

《問合せ先》ねんきんネット TEL 0570-058-555

# こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

## 日本脳炎予防接種と歯周病検診について



### 《日本脳炎予防接種について》

- 日本脳炎の予防接種後に重い病気となった事例があったことをきっかけに、国の方針として平成17年度から平成21年度まで、日本脳炎の予防接種の案内を行いませんでした。
- その後、新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになっています。
- 平成17～21年度の間に定期予防接種の機会を逃した方々には、平成23年度から順次接種のご案内を行っています。（今年度は小学2年生～5年生が対象です。それ以下の年齢のお子様には次年度以降順次ご案内を行います。）
- ご案内の対象になっていない場合でも、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれで、1期（通常は3歳で2回、4歳で1回）・2期（通常は9歳で1回）の接種が終わっていないお様は、20歳未満までの間、日本脳炎の定期予防接種を受けることができます。
- 予防接種を希望する方は、母子健康手帳をご確認の上、下記までお問い合わせ下さい。



### 《歯周病検診について》

- 町では、今年度も「歯周病検診」を実施します。
  - 日本人の40歳以上の9割以上の方が、歯周病などの口の中の病気にかかっていると言われています。
  - 歯周病は、将来歯が抜ける原因の第1位とされ、自分の歯がないことで食欲が落ち、体力の低下から寝たきりの原因にもなります。
  - 普段なかなか歯科医院に足の向かない方も、ぜひこの機会をご利用ください。
  - 対象：40歳以上の今別町民
  - 検診時期：平成25年2月18日～3月30日  
(詳しい日時は、後日申込者へ個別に連絡)
  - 検診場所：住吉歯科医院
  - 料金：無料
  - 申込方法：役場町民福祉課へ電話(35-3004)で申込みください。
  - 申込締切：平成25年2月14日(木)
- 《問合せ先》今別町役場 町民福祉課 保健師 TEL 35-3004



# 平成25年度賃借料及び農作業標準労賃表

今別町農業委員会

## ○農作業標準労賃

☆標準賃借料（10aあたり）平成25年4月1日から

農地の区分		賃借料の標準額	地域名
田	町内統一	8,000円	全地域
畑	町内統一	2,000円	全地域

☆参考賃借料（10aあたり）平成25年4月1日から

農地の区分		賃借料の標準額	地域名
牧草畑	町内統一	1,000円	全地域

## ○農作業標準労賃

【注】この農業労賃及び農作業受託料金は、取り決めの際の目安となるものであり、各地域により事情があると思われるので、柔軟な対応をお願いします。

### 1. 農業労賃

作業名	単位	標準額		備考
		25年度	24年度	
水田作業	苗取	1日	5,240円	1日当たり8時間を標準とする (賄い抜き)
	田植	1日	5,240円	
	除草	1日	5,240円	
	稲刈	1日	5,240円	
	脱穀	1日	5,240円	
	病虫害防除	1日	5,240円	
	その他の作業	1日	5,240円	
畑作業一般	1日	5,240円	5,180円	
果樹作業一般	1日	5,240円	5,180円	
牧草刈取(モア)	10aあたり	3,000円	3,000円	

### 【積算根拠】

青森県最低賃金  
平成24年10月12日施行 1時間654円  
654円×8時間=5,232円

## 2. 農作業受託料金

作業名	単位	標準額		備考		
		25年度	24年度			
耕起(トラクター)	10aあたり	4,500円	4,500円			
水田	田植	10aあたり	27,000円	27,000円		
	苗なし	10aあたり	6,000円	6,000円		
水	荒代かき	10aあたり	3,500円	3,500円		
	代かき	10aあたり	3,500円	3,500円		
	荒代同時仕上げ	10aあたり	6,000円	6,000円		
	牧草作業一式	10aあたり	15,000円	15,000円		
田	刈	バインダー	10aあたり	7,000円	7,000円	結束ひもを含む
		ハーベスタ	10aあたり	6,000円	6,000円	
	取・脱穀	コンバイン	10aあたり	12,500円	12,500円	補助員が見つからない場合(グレンタンク付き)
			10aあたり	10,000円	10,000円	補助員がつく場合
			10aあたり	2,000円	2,000円	結束の場合(割増)
	生乾燥	1俵あたり	両者間で決める			
補助乾燥		1俵あたり				
畑耕起	平坦地	10aあたり	5,000円	5,000円		
	傾斜地	10aあたり	6,000円	6,000円		
	うね上げ	10aあたり	5,000円	5,000円		

# 議会だより

発行/東津軽郡今別町議会  
編集/議会広報委員会

No.174

## 今別町選挙管理委員及び補充員を選出

第406回定例会が平成24年12月7日招集され、14日までの8日間の会期で開催されました。

提案された議案は、平成24年度補正予算案6件、専決報告1件、その他3件あわせて10議案をいずれも原案どおり承認・可決し、任期満了による選挙管理委員及び補充員を選出して、会期を1日繰り上げて13日閉会した。

### 予算関係

○平成24年度一般会計及び特別会計補正予算は可決されました。

### 専決報告

○平成24年度今別町一般会計補正予算歳出に衆議院議員選挙費4百14万4千円など4百14万1千円を追加し、予算総額を27億1千7百30万2千としたもの。

### 人事関係

○今別町選挙管理委員会委員及び補充員の選出

町選挙管理委員及び補充員の選挙では、選挙管理委員は投票で、補充員は指名推薦で選挙が行われ、次のとおり当選人が決まりました。任期は、平成28年12月12日まで。

#### 選挙管理委員

上山 等 氏(65歳・大川平)  
畑井 敏彦 氏(65歳・西田)  
長島 三千次 氏(65歳・奥平部)  
中島 陸奥男 氏(70歳・山崎)

#### 選挙管理委員補充員

間山 滋 氏(69歳・大川平)  
山田 一藏 氏(65歳・奥平部)  
太田 亨 氏(68歳・山崎)



### その他

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について  
関係地方公共団体と協議する必要があるため、議会の議決を要する事項を可決する。

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について  
関係地方公共団体と協議する必要があるため、議会の議決を要する事項を可決する。

○町営土地改良事業の施行について  
平成25年度において、清川上流地区基盤整備事業を町営で施行するため提案するものである。

○「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書を国への提出を求める陳情書の意見

### 陳情・意見

○「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書を国への提出を求める陳情書の意見



### 中島邦彦議員

○北海道新幹線奥津軽(仮称)駅開業対策アクションプラン内容と、今後の活動について。

#### 質問

(1) 策定委員会の活動について  
北海道新幹線開業まであと3年余りとなりました。そうした中で町では、去る10月に「北海道新幹線奥津軽(仮称)駅開業対策アクションプラン策定委員会」を設置したようですが、その設置内容と今後の活動はどのようになっていくのか。

## 議会の動き

- 10月
  - 4日～5日 議長・副議長研修会
  - 14日 秋まつりへ参加
  - 18日 例月出納検査
  - 26日 正副議長・事務局長研修会
  - 29日～31日 両常任委員会視察研修
- 11月
  - 6日 県知事を囲む懇談会
  - 8日 東郡監査委員協議会実務研修会
  - 11日～14日 議長県外研修・議長全国大会
  - 20日 例月出納検査
  - 28日 議員全員協議会
- 12月
  - 3日 消防本部と懇談(町と議員全員・青森市)
  - 4日 議会運営委員会・産業建設常任委員会現地視察
  - 7日～13日 第406回定例会
  - 20日 例月出納検査
  - 21日 議会事務局職員研修会
  - 25日 選挙管理委員・補充員の当選証書交付式
  - 26日 東郡議長会議長会議
  - 28日 北海道新幹線開業促進特別委員会



常任委員現地視察  
(村元地区八甲荘裏の排水)



常任委員現地視察  
(二股地区の雪捨て場)

(採択) ○年金2・5%削減中止を求める意見書 (採択)



### 企画課長

(仮称)奥津軽駅の2015年度開業は、当町にとって、地域をよりよい方向へ導くことができるチャンスであり、町民の皆さんが丸となって取り組むべき指針を策定するため、委員会を設置したものであります。

町や商工会、観光協会などの各団体から委員11名が県の指導助言を受けながら、基本的な方向性を総合的かつ体系的に示した今後の道標「北海道新幹線奥津軽(仮称)駅・開業対策アクションプラン」を今月10日には、町長に答申しており、1月25日には、「アクションプラン公表町民推進大会」を開催し、

### 国道280号線(与茂内)消波工設置について

#### 質問

今別町民が丸となって開業に向けて行動していく決意表明を予定しております。国道280号与茂内橋付近は北西の風が強く、北西の風と高波により、与茂内川に玉石混じりの砂利が、与茂内川上流にある数軒の民家付近まで流入し、そのため川の水位が上がりがり、非常に不安であると聞いています。住民の不安を解消するためにも、その対策として与茂内川沖合い北西側に、テトラポッドの設置をしたいと思います。

#### 産業建設課長

ご質問の箇所について、現在どういう状況であるかの詳しい調査して今後、要望を考えていきたいと思っておりますので、ご

理解をお願いします。

### 福 士 直 治 議員

#### ○北海道新幹線奥津軽（仮称）駅について

**質問** (1)地場産品開発補助金は活用されているか。

地場産品開発補助金について質問します。前回の答弁で2団体から試験研究費として相談を受けているとありましたが、どうなりましたか。また、個人や団体に對する説明会を開催するつもりでしたが、行われませんでしたか。今年の3月に予算が可決されてから9カ月たちますが、進捗状況について説明願います。

#### 企画課長

地場産品の開発に必要な補助金としては、多くの個人や団体の皆さんから相談を受けているところであり、これまで、4団体に対して交付決定がされたところがあります。

補助金交付のための規約が決定された後、補助金の審査をする中で規約に規定された以外の疑義事項が発生し、交付決定が遅れた団体もあることから、今後はこのような事務作業の遅れが生じないよう効率的な運用に努めて参りたいと思います。

補助金の活用に関する説明会を開催している他、各種加工団体に対する説明会等も開催し、補助金の活用を図っているところであり、ご理解をいただきたいと思います。

**質問** (2)2次交通の確保はできているか。2次交通の整備も前回の答弁であった、観光客のニーズに備えた交通体系の整備の検討は終わったのですか。前回、大手レンタカーの誘致は難しいと言っていました。が、わが町は交通手段として、車がなければ観光、仕事を駅を利用された人も、大変不便を感じると思います。具体的にどういった計画でいるのでしょうか、説明願います。

#### 企画課長

今年度は、地元周遊コースの選定や観光コースの選定、観光客のニーズに即した交通体系の整備に向け、実地調査や各種イベントによる検討を重ねており、現在策定中の奥津軽（仮称）駅開業に向けたアクションプランにその内容を反映させることとしております。

ご指摘のように新幹線駅舎乗降客にとって2次交通の確立は必須条件であり、特に当町では、巡回バスの充実も含め、タクシーやレンタカーの誘致は不可欠なものと考えております。ただし、当駅の場合、近隣の駅舎のように多くの乗降客を見込めないことから採算性に疑問を持つ事業者が多く、誘致は困難となります。乗降客の増加対策も含め更なる事業展開を図りたいと考えておりますので、議員からもご意見等賜りますようお願いいたします。

#### ○鳥獣被害について

**質問** (1)被害への対策はされているか。

今年も昨年以上のサル被害が報告されています。被害地域は拡大し、昨年まで影響の無かった地域も被害にあっています。このことから増加傾向にあるサル被害を根本的な対処が必要と考えますが説明願います。

#### 産業建設課長

9月議会で入江議員に答弁しておりますが、過疎化や高齢者とともに放棄地が増え山との境界もなくなっていることから緩衝帯の設置と各地区の農地の集約を実施することで効果が得られるとお答えしております。

集約化することによって得られる効果として  
1. 管理体制が適正にできること。  
2. 町補助の侵入防護柵等の設置も可能になる。  
3. 少ない費用で効果が期待できる。  
など、様々な効果が期待できるものと思われまます。このことから、自家消費農家と生産販売農家とのバランスを考えなが

ら、各地区と集約化に向けた検討会を重ね、これからの実施方向を考えて行きたいと思えます。

**質問** (2)補助金制度の活用はされているか。

補助金制度ですが、農林水産省では鳥獣被害防止総合対策を策定し100億を超える予算を鳥獣被害総合対策交付金につけています。その内訳として鳥獣の捕獲、追い払いなどのソフト面、施設、設備等のハード面があります。わが町はソフト面の鳥獣の捕獲、追い払いに対する交付はありますが、設備等ハード面の交付は受けていないのでしょうか。

私が、調べたところでは侵入防止策を設置するために交付金を申請した場合、補助率は1/2以内ですが、「侵入防止柵の自力施工を行う場合に資材費相当分の定額補助が可能」という一節があります。これは実質全額補助を意味します。県外では1600万円の補助金が支給された地域もあります。交付金は個人ではだめで、団体に交付されますが、わが町にもすでに被害対策委員会のような組織もあると聞いています。サル被害に悩まされている町民にとって大変有利な制度なので、ぜひ活用していただきたいと思えます。これについて、町の考えを説明願います。

#### 産業建設課長

国の鳥獣被害対策交付金の農業生産に直接係る、侵入防止柵等のハード事業は、制限金額はないものの、施設には一体整備する3戸以上の受益農家が必要で、補助金の交付先が協議会であっても実質の設置が個人では国の交付金の対象外となります。

また、費用対効果の分析の実施が不可欠で、算定方法も決まっていることから自家消費農家を対象とした交付金制度ではなく、生産販売農家が3戸以上の農家を対象とした制度だと考えています。このことから、該当する生産販売農家があるか調査を進め、制度の活用を考えたいと思えます。

### 入 江 獎 議員

#### ○新幹線開設にあたり、地場産業・観光について

**質問** (1)新幹線開設3年目前に控え、観光、特産物等、今別を全国に発信する目玉がない。特に農林業の基盤の強化と具体的な効果のある担い手育成が急がれているが、それについての計画と見通しについて具体的にお聞きしたい。

#### 産業建設課長

当町の農家は、稲作を中心に和牛の飼育、野菜ではバレイシヨ、一球入魂かぼちゃ、トマト、アスパラなどを奨励してきました。

また、パイプハウス建設により通年農家の振興として「寒締めほうれん草」の栽培が行われてきましたが高齢化や後継者不足により取組農家がなかなか増えない状況にあります。

今年度から県の支援事業として担い手を育成する「今別町地域経営担い手育成5ヶ年計画」が作成され実施しています。今年度は東京市場でも高い評価をいただいている、「一球入魂かぼちゃ」の販売強化と商品化を目指し今別町秋まつり等での試食会を開催してきました。また、6次産業化に向けた加工及び販売の先進地研修や認定農業者の新品目・新品種への種苗導入による、生産委託を実施し、生産・販売強化を図っております。平成28年度までの目標を定め、県補助を活用した地元産品の生産及び加工品の強化を進めていきます。

**質問** (2)今別町は農業・漁業の資源に恵まれ、青森市に近い日帰り観光地の特色を生かし、鱈ヶ沢町や深浦町などのような今別町の水産物・農産物の特徴の押し出しと供給体制の確保をどうするつもりか。

#### 企画課長

町の農林水産物については、今年度県外旅行者を対象に実施された奥津軽エリアのモニターツアーにおいても高い評価

をいただいております。

この未利用資源等の活用方法については、今年度、県の助言をいただきながら販売方法も含めて検討しているところであり、未利用資源を魅力ある物産として販売するためには、多品目を大量に品揃えし、顧客の獲得を図る必要がありますが、それに伴うリスクの軽減方法も考慮しながら計画する必要があります。

最大の課題であります販売戦略については、多くの町民の皆様の参画をいただきながら町内の販売施設や道の駅の活用も含めて計画している状況であり、1、2年のうちに、ある程度のめどをつける必要があると考えております。

#### ○猿被害対策の来年度から提案について

**質問** (1)今年度は猿被害が過去最大となりました。町で委託している猟友会にも限界にきている。財政難で済ますわけにはいきませんので、来年度は猟友会の専門の嘱託職員を前向きに検討して欲しいが町長の見解をお聞きしたい。

#### 産業建設課長

専門の嘱託職員の採用ですが、費用対効果を考えての場合、見合う効果を得ることが難しいと考えられます。

福士直治議員にお答えしましたが、各地区の農地の集約化をすることで様々な効果が期待できるものと考えています。

このことから、各地区と集約化に向けた検討会を重ね、これからの実施方向を考えて行きたいと思えます。

**質問** (2)増え続ける猿被害は、農家の生産意欲を失わせ、集落の衰退に拍車をかけ、それが猿被害への対抗力も弱める、という悪循環をもたらしています。根本的には、農林業が成り立ち、農山村で元気に暮らせる条件整備が不可欠ですが、当面、該当する猿の生態や繁殖条件の調査を国の責任で行い、増えすぎる鳥獣を適正な密度に減らす地域や自治体の取り組みを支援し、鳥獣が里山に下りずに生息できる新林環境を整備するとともに国の鳥獣被害対策交付金を大幅に増やし、

防護柵・わなの設置、捕獲物の利用など農家や町村の取り組みへの支援を、国に要望すべきではないか。

### 産業建設課長

国の鳥獣被害対策交付金のソフト事業とハード事業があり、当町ではソフト事業をこれまで2ヶ年進めてきました。この中で生息調査をし、駆除、捕獲等を行い適正な取り組みを行ってきました。今後、間接的なソフト事業については取り組める事業を検討していきたいと思っています。

また、ハード事業については、福士直治議員にもお答えしましたが、該当する生産販売農家があるか調査を進め、制度の活用を考えたいと思います。

### 診療所の投書箱の設置と院所利用委員会について

質問 (1)前回の議会で診療所の医師について質問したが、未だに町民から苦情が寄せられています。そこで私の提案ですが、医師や看護師、病院に対する不満や要望を聞くために、無記名で投書できる投書箱を要することをすすめたい。患者さんが診療所の医師、看護師、事務員、患者さんが気持ちよく利用できるように、投書箱を用意し、その投書内容を見て、検討し、今後の改善できる、専門の院所利用委員会の設置を強く要望します。町長の答弁をお願いします。

### 町民福祉課長

今別診療所については、開設者は町長であります。診療所の管理運営については、医師でありますので、入江議員の提案した投票箱の設置、専門の院所利用委員会の設置の要望のあったことを、診療所の管理運営者であり診療所所長でもある医師に伝えておきます。

### 広域消防事務組合に関する内容について

質問 (1)9月の広域消防議会での私の質問で、鹿内市長は、今別分署の予算の各町の負担割合は、消防条例で、人口割合

が6対4できまっています。今別町長と外ヶ浜町長との話し合いで見直しをする必要があれば、条例を変えて、両町が納得いくまで話し合って決めてほしいと述べた。今別分署の職員配置では、青森市を例に、市内の各分署は、2隊22名で構成し、何かあれば分署同士で補っている。外ヶ浜分署は青森市から離れているので、青森市の分署がすぐ対応できないので、2隊24名の職員配置となっている。

今別分署の財政状況を考え、2隊21名の職員配置で提案していると述べた。私は、今別分署は青森市から、外ヶ浜分署よりもさらに遠いので、最低2隊24名職員配置が必要ではないかと強く要望した。今後、小鹿町長は、この分署問題を1日も早く外ヶ浜町長と話し合いで解決する意思があるかどうかお聞きしたい。

### 町長

これまで、負担金のことなどで、22人が適正であるとの考えから、この体制を要求しております。6月には、管理者である青森市長が今別12人、外ヶ浜9人の21人体制を提案したものの、この提案が取り入れられませんでした。提案のとおり21人体制となれば、機会を見て1人増の22人体制への移行でありました。

3日には、議員の皆さんといっしょに交渉を行ったものの、結果については、ご承知のとおりであります。

今別町は負担割合の6対4と同じく、職員割合も6対4が適正であるとの考えであります。そのためには、議員の皆さんにも頑張っていたいただきたいと思っております。

また、外ヶ浜町長はこれまで、管理者である市長からの呼び出しに応じなかった経緯もあり、私が呼びかけても応ずるかは定かではありません。私は、何時でも話し合いの席に着く考えであります。

また、今月7日の全員協議会で話し合ったことをもとに交渉する考えであります。

### 来年度の緊急雇用対策補助事業廃止について

質問 (1)この緊急雇用補助事業により、現在行われている事業の種類をおしえて下さい。

### 町民福祉課長

この事業の趣旨は、国が緊急雇用創出事業臨時特交付金を県に交付し、町が離職を余議なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、短期の雇用・就業機会を創出・提出することにより、生活の安定を図ることを目的に行われた事業であり、24年度は継続事業として全体で7事業を実施しています。

1. 地場産品消費推進事業
2. 観光・環境整備事業
3. 特別支援教育支援員配置事業
4. 町民ふれあい文庫管理運営事業
5. 町内クリーン化推進事業
6. 町道及び歩道等通行路線確保事業
7. 高齢者世帯等生活支援事業であります。

質問 (2)廃止されようとする事業の中で、町で単独でもやらなければならないと考えている事業を教えてください。

### 総務課長

今年度、実施している事業については、町民福祉課長より説明がございましたが、この事業の中で、「特別支援・教育支援・配置事業」ふれあい文庫管理運営事業などについては、補助がなくなったからと言って、止める事は出来ないものと考えております。

以外の事業についても、雇用対策の必要性から出来る限りの実施について検討しております。

しかし、原燃交付金を活用して実施していた、漁業振興の補助金の確保。本格化する北海道新幹線関連事業の資金の確保など様々な課題があります。

また現在、新年度予算の編成中であり、個別の事業のみでの判断はできません。どの事業を優先させなければならぬか。対応しなければならぬと考えております。

### 非課税世帯の福祉灯油の無償提供について

質問 (1)佐藤豪さんが議員をやっているときに、東郡が一番にこの福祉灯油の無償提供を2、3年続けていた記憶があります。灯油の量として18リットルポリ缶で、5つとなっていました。現在の灯油は当時の値段とそう大きくちがっていない。年金が減らされ、物価が上がっている状態です。今年も寒い冬と予想されていますので、町の志として、非課税世帯の世帯に対して、福祉灯油の実施を要求したいと思いますが、町長の答弁をお願いします。

### 町民福祉課長

灯油価格は年々上昇し、中でも平成19年度から20年度においては、1ℓあたり70円台から120円台と急激な値上がりを行いました。

町では、この現象を乗り切るための支援対策として暖房費の一部を助成する「今別町福祉灯油購入費助成事業」を実施しました。

この事業は議会に提案し、了承を得て実施したものであり、佐藤議員からの提案ではありませんので入江議員には勘違いしないようにしてください。

その後、灯油の価格も80円台と安定していることから、暖房費の助成については今のところ考えておりませんので、町民の皆さんにあっては、経費の節約に努めていただき、厳しい冬を乗り越えていただきますようお願いいたします。

## 両常任委員会視察研修報告

平成24年10月29日～31日、新潟県の佐渡島及び旧山古志村を視察して参りました。

皆さんもご承知のように、8年前に起きた新潟県中越地震は、道路農林業に甚大な被害を及ぼしました。その内訳は、国道・県道が寸断25箇所、土砂135箇所、市道の破損率30～100%、農業施設が道路1,029箇所、水路460箇所、ため池194箇所、農地が流出・埋没が525箇所(124ha)、林業が林地28箇所、林道16箇所という内容でした。中でも、現在そのまま残しているのが、3階建ての家が2階まで土砂に埋まった情景です。低いところに建てた家は、ほとんどが高いくところへ移動したそうです。津波が来るところではありませんが、高台へ避難しなければならぬ状況にあったという訳です。その他として牛に角突き、1匹1,200万円もするという錦鯉、現地を見てただ唖然とするばかりでありました。

大変有意義な研修でありました。以上で報告を終わります。(産業建設常任委員会委員長 明田平苗)



常任委員視察 (旧山古志村)

## 編集後記

町民の皆様には、雪片づけに追われる日々と思います。いよいよ、奥津軽(仮称)駅を活用するための、アクションプランも策定され、来る北海道新幹線開業に向かって全町一丸となり、取組んでいかねばなりません。

まだまだ寒い日が続きますが、待ち遠しい春を思いながら、乗り切っていきたいと思います。

議会広報委員 福士直治

# イマダス

## まちの行事予定

(2/1~3/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

2/1 (金)	・人権・行政相談《中央公民館》	総務
	・第31回今別町社会福祉大会	社協
9 (土)	・婦人芸能祭《開発センター》	教育
14 (木)	・救急員救急法講習会	社協
3/1 (金)	・第5回キクの会《開発センター》	社協
2 (土)	・青森北高今別校舎卒業式	教育
5 (火)	・県立高校前期選抜試験	教育
6 (水)	・幼児フッ素歯面塗布	町民福祉
9 (土)	・今別中学校卒業式	教育

## 町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」  
 ①氏名 ②地区名 ③将来の夢



①五十嵐龍斗  
 ②砂ヶ森  
 ③プロ野球選手

ほくが、卒業式までにがんばりたいことは勉強です。すべての教科において難しくなっていくので、がんばりたいです。特に社会の都道府県とその県庁所在地が苦手なので、自主的に勉強をしてしっかりと復習したいです。卒業式では、卒業証書を受け取る時に大きな声で返事をしたいと思います。また、今まであった事を思い浮かべながら、「中学校に行くぞ」と大きな心を持って、しっかりと受け取りたいです。

## 新幹線あーとぎゃらりい

このコーナーでは、「北海道新幹線フォーラムin今別」の会場に展示された、今別小学校4・5・6年生の絵画を紹介します。



6年 伊藤 綾香 さん



6年 五十嵐 龍斗 くん



6年 藤田 未来 さん



6年 三浦 瑞希 さん



6年 相内 南 さん



6年 水嶋 陽翔 くん

## もうすぐ1年生

平成25年度の今別小学校新入学予定児童14名を紹介します

平成25年1月28日現在

しま 嶋若上 畠嶋 藤伊	なか 中佐山 中田 藤	らい 来時郁 亜姫 朋佑	む 夢と士 翔斗の乃 哉大	かみ 上嶋小 岡笹 吹赤	やま 山中鹿 野谷 田坂	か 果 葵 学樹 明 珀 宙	ほ 歩 葵 莉 明 皓 宙
--------------	-------------	--------------	---------------	--------------	--------------	----------------	---------------

## 平成25年3月から津波警報が変わります

3月7日正午から、非常事態であることをお知らせし、皆さんにすぐに避難していただけるよう改善した津波警報等の発表を開始します。詳しくは、以下にお問い合わせいただくか、気象庁ホームページをご覧ください。

《問合せ先》

青森地方気象台 防災業務課 TEL 017-741-7413

気象庁ホームページ:

ホーム>気象庁について>気象庁のご案内>

刊行物・レポート>リーフレット「津波警報が変わります」

### お詫びと訂正

12月号2頁に公認水道業者を5社掲載しましたが、正しくは、相内管工設備、上機衛生社、田中水道、みちのく設備の4社となります。訂正してお詫び申し上げます。

### 編集後記

まだまだ寒さ厳しい今日この頃、町民の皆さんはいかがお過ごしですか？ 去年の大雪には大変苦労しましたが、今年もなかなかの積もりっぷりですね。雪かきに精を出している方も多く、雪かきには精を出している方も多く汗をかいたら着替えをして、風邪を引かないように気を付けましょう。インフルエンザも流行しているようなので、手洗いうがいを中心に、万全な状態で雪と戦いましょう。

(広報担当 奥崎 匠)

### 戸籍の窓口

(12月1日から31日までの届出分)

お誕生おめでとうございます  
 田中 莉織 (健介) 大川平

お悔やみ申し上げます

吉田 政俊 (88)	大泊
小倉 かち丞 (85)	砂ヶ森
泉谷 由吉 (92)	大川平

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様に申し出下さい。

今別の姿  
 (平成24年12月31日現在)

面積	125.28km <sup>2</sup>
人口	3,212人 (-4)
男	1,501人 (±0)
女	1,711人 (-4)
世帯数	1,544 (-1)

( )内は前月比